

Rotary International  
2010~2011



地域を育み、大陸をつなぐ

# 中村ロータリークラブ

## 例会記録 (2010~2011)

会 長/岡 本 淳	創 立/昭和38年10月2日
幹 事/大 塚 和 助	例会日/水曜日 12:30~13:30
会報委員長/谷 岡 慶 一	例会場/新ロイヤルホテル四万十 事務所/四万十市中村小姓町46番地 中村商工会館2F TEL 0880-35-4551 FAX 0880-35-4553 ●ホームページ <a href="http://www.nakamura-rc.com/">http://www.nakamura-rc.com/</a>

週報 No.2203

第2334回 平成23年2月23日 (晴れ)

本日のプログラム：ゲストスピーチ NTTドコモ

3月2日のプログラム：会員スピーチ

3月9日のプログラム：会員スピーチ

### 【会長挨拶】岡本会長

- ・本日のゲストを紹介します。  
ドコモサービス四国(株)研修センター  
香西康伸所長、一宮幸代様、小西敏子様  
NTTドコモ高知支店 法人営業部課長  
松田久様  
「ケータイ安全教室」についてのスピーチよろしくをお願いします。
- ・2月23日はロータリーの誕生日です。  
1905年の本日、弁護士のポール・ハリスは、3人の仲間と会合を持ちました。ロータリーの始まりです。その後、全世界へと仲間が増えるわけです。今年で106周年になります。

### 【幹事報告】大塚幹事

- ・ガバナー事務所より  
3月のロータリーレート 1ドル=84円
- ・2011~2012年度版ロータリー手帳希望
- ・不要確認表を回覧しています。
- ・地区大会の最終受付け 3/11まで。  
現在9名の出席を頂いておりますが、一人でも多くのご参加をお願いします。  
4/16(土)・17(日)  
ひめぎんホール(松山市)
- ・国際ロータリーより定款・細則の見直し要請がきています。座長は東会員にお引き受けいただきました。その他、荒井会員、大塚幹事、杉本副幹事です。本年度中にまとめる予定です。



## ●本日のプログラム

ゲストスピーチ ドコモサービス四国(株)研修センター 一宮幸代様



### ～災害時の携帯電話の利用方法について～ 災害用伝言板サービス・緊急速報 「エリアメール」のご案内

災害時の携帯電話の使い方「災害用伝言板サービス」と「緊急速報エリアメール」についてご紹介致します。

内閣府や高知県のホームページには東南海地震の被害想定などがあり、四万十では震度6強の揺れが想定されるとありました。震度6ともなると、建物の倒壊や火災、崖崩れ、津波なども充分想定されます。しかし災害が起こった時、必ずしも家族が同じ場所にいるとは限りません。そんな時にご利用いただきたいのが『災害用伝言板』です。

こちらは震度6弱以上の地震や、大規模災害が起こった時に、家族・友人・知人の安否情報などの確認ができるサービスです。イメージしやすいよう映像をご用意致しました。《映像放映》

災害時には電話がつながりにくくなる可能性があります。そこで大きな災害時のみ、災害用伝言板が提供されます。携帯電話からインターネットに接続する機能を起動すると最初に「災害用伝言板」と表示されます。災害用伝言板はドコモだけでなく、他の携帯電話事業者も提供しています。またパソコンからもメッセージの確認が可能です。

災害用伝言板では、無事です／被害があります／自宅にいます／避難所にいますといった内容を選ぶことができる上、100文字までなら文字入力できるので、どこの避難所にいるのか、メッセージも残せます。

また安否確認の方法は、携帯電話の番号を入力して検索ボタンを押すと、その人が残したメッセージを見ることができます。

災害用伝言板はいつでも見られるということではなく、大きな災害時のみご利用いただけるサービスです。

しかし、いざという時に利用方法がわからないと困りますので、操作方法をお試しいただける体験サービスをご用意しております。

- ・毎月1日・15日・1/1～1/3
- ・防災週間(8/30～9/5)
- ・防災とボランティア週間(1/15～1/21)

1つの携帯電話の番号で10件まで登録できます。メッセージの保存期間は、1



つの災害でのサービスを終了するまでです。

災害用伝言板を利用いただきたい理由はもう一つあります。被災地への電話が集中すると、被災地の中での通話を優先的につなげるため、被災地以外からの通話をお待ちいただくことがあります。これは救助活動をしっかりと行うためにも、とても大切なことだと考えているからです。被災地を救うためには、つながらない相手に何度も何度も「かけ直す」ことをやめてみる。そんな心掛けが被災地の人々にとって大きな助けとなります。

さて先程の映像でもう一つ、災害時に役立つ機能が出てきました。「緊急速報エリアメール」と呼ばれるものです。気象庁が震度4以上の強い揺れがくると推定した地域の携帯電話に、専用の警告音と共に画面表示で知らせます。お申込み不要で無料のサービスですが、事前設定が必要な機種もあります。

(※エリアメール試聴)

お持ちのケータイからこのような警告音が聞こえた場合は、すぐに強い揺れがく



る可能性がありますので、コンロの火を消したり、机の下に隠れたりなどの素早い対応をお願い致します。

エリアメールの仕組みは、地震が発生すると、気象庁が初期微動であるP波をキャッチし位置、規模、想定される揺れの強さを自動計算します。そして主要動のS波の揺れが始まる数秒前に情報を送るよう携帯電話事業者へ指示を出します。するとエリアメールが一斉配信されて、地震の情報を知らせます。ただし通話中、パケット通信中並びに電波状態が悪いトンネルや地下では受信することができません。また、地震などの揺れを感じるよりも早く受信できるとは限りません（特に震源地に近い場合）。

最後に、『ケータイ安全教室』は、災害用伝言板やエリアメールだけでなく、携帯電話でトラブルに巻き込まれないための対策や便利に使っていただく方法もお伝えしている社会貢献活動です。地域のコミュニティへお伺いして振り込め詐欺に関するお話をする一方で、小中高校へも伺いケータイのルールやマナーをお伝えしています。興味をもたれた方はお気軽にお問い合わせください。ご要望があれば、現地へお伺いしてお話させていただきます。もちろん無料です。本日は貴重なお時間をいただき、誠にありがとうございました。



## 2月23日はロータリーの誕生日

1905年2月23日、この日、弁護士のポール・ハリスは、3人の仲間と会合を持ちました。ロータリーの始まりです。石炭商のシルベスター・シール、鉱山技士のガスターパス・ローア、仕立業のハイラム・ショーレーの3人です。

ポール・ハリスは「ロータリーへの私の道」に、当時のシカゴでの生活について「日曜の朝は下町の教会へゆけばよかったのですが、長い日曜日の午後はどうにもならないほど孤独でした。日曜日の午後の公園ほど、孤独を感じさせるところはありません。知らない人がたくさんいることが、かえって限りなく広がる大海原や大平原にいる以上に、孤独感を強めるものです」と書いています。

ポール・ハリスは最初の会合について、「自分の村で知っているような、お互い

の協力と気取らない友情を深めるための簡単な計画を彼らに提示しました。彼らは賛成してくれたのです」と書いています。

現在200以上の国と地域に、120万人のロータリアンを擁する組織は、20世紀の始めに4人から始まりました。その後、順調に仲間を増やし、ロータリーはアメリカ全土に広がっていきました。会員が増えれば、違った考えや経験を持つ人も出て来ます。

全世界へ広がると同時に、ロータリアンの考えだけでなく、ロータリーの活動も広がり続けています。

「友」編集長 二神典子 記  
ロータリーの友2月号より抜粋

### 【ニコニコ箱】

香西康様：本日は大変貴重なお時間をいただき誠にありがとうございます。

災害は何時来るかわかりません。備えあれば憂いなし、本日のプログラムが少しでもお役にたちますように。ニコニコさせて頂きます。

大塚幹事：ドコモサービスの香西センター長はじめスタッフの皆様ありがとうございました。スピーチして頂いたうえに、お土産までいただきました。

佐竹会員：百年ぶしゅかんのぼん酢ができました。掛水さん、本日の朝刊ありがとうございました。

### 【出席報告】

- ・会員総数/46名
- ・本日の出席/33名 71.11%
- ・先週の訂正 M7 77.78%→88.89%



このテーマには2つの意味があります。1つは社会奉仕と職業奉仕の基本理念を理解し、地域社会をより住みやすく、働きやすい場所にする。もう1つは、国や大陸が異なる海外クラブと協力し、世界理解、親善、平和を広め、世界をより良い場所にする、ということです。

2010～2011年度国際ロータリー会長 レイ・クリンギンスミス